

第4章

地域別構想

1. 地域別構想の役割と地域区分
2. 地域別構想

1. 地域別構想の役割と地域区分

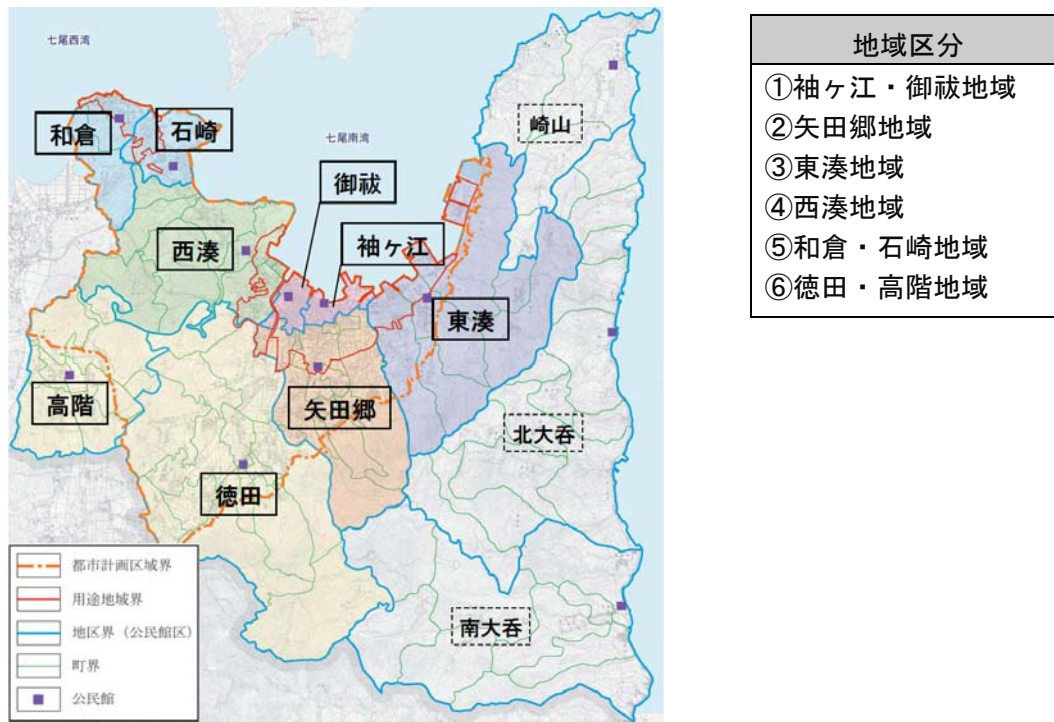
(1) 地域別構想の役割

全体構想は、まちづくりの目標やまちづくりの方針について市全域を対象として定めており、各地域における日常的な生活や都市活動の視点から見ると身近に感じにくいところがあります。

地域別構想では、市域を構成する各地域の特性や課題を踏まえ、地域住民の意見を反映することで、より地域の実情にあったまちづくりの目標や方針を設定します。

(2) 地域区分の考え方

地域別構想を策定する地域区分は、都市計画区域を含む公民館区を基本単位として、袖ヶ江と御祓、和倉と石崎、徳田と高階をそれぞれ統合した6地域とします。



■ 地域区分図

(3) 地域別構想の内容

①地域の概況	・ 地域の位置や人口の動向、特徴について整理
②まちづくりの目標	・ 地域の目指すべきまちづくりの目標を設定
③まちづくりの方針	・ 全体構想の都市づくりの方針を地域に展開 ・ 地域別のまちづくり懇談会での意見を反映（別途、まちづくり懇談会での意見をまとめた「主な意見のまとめ図」を作成）



■袖ヶ江・御祓地域



■矢田郷地域



■東湊地域



■西湊地域



■和倉・石崎地域



■徳田・高階湊地域

■地域別まちづくり懇談会の様子

2. 地域別構想

(1) 袖ヶ江・御祓地域

① 地域の概況

袖ヶ江・御祓地域は、七尾市の中心市街地であり、前田利家が築城した小丸山城の城下町の風情が残る地域です。

人口、世帯数ともに大幅に減少しており、高齢化も進行しています。

(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合): 約32%(七尾市全体: 約27%))

地域南部の七尾駅前には、複合商業施設「パトリア」と「ミナ・クル」があり、駅前の立地を活かした中能登地域における商業の中核機能としての役割を担っています。

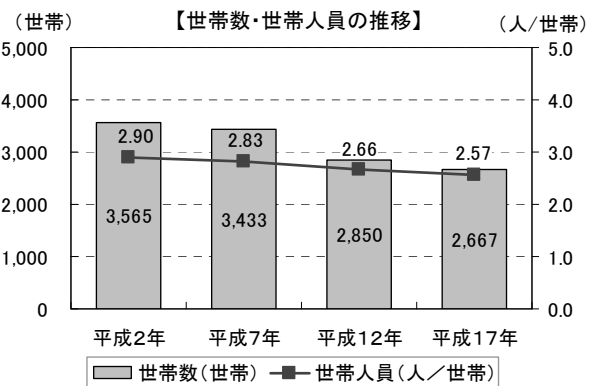
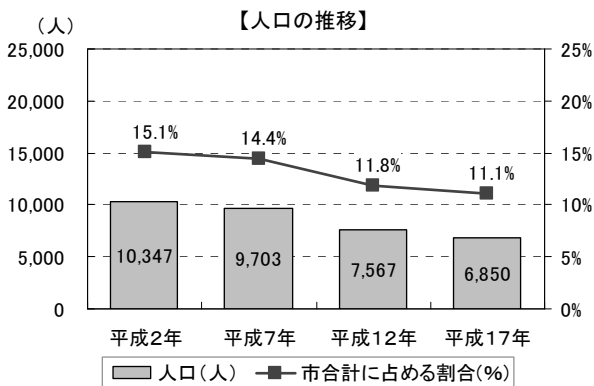
地域北部の七尾港周辺は、臨港地区に指定されており、工業、生産物流など工業機能が集積しています。また、能登食祭市場や七尾マリナーパーク周辺は、まちの個性となる水と緑の拠点として、モンレージャズフェスティバルが開催されるなど市民や訪れる人のレクリエーション活動、癒しや憩いの場としての役割を担っています。

平成23年2月には七尾駅と七尾港を結ぶ(都)府中七尾駅線の整備が完了し、今後とも七尾市の顔となるシンボル道路として、御祓川の景観護岸と一体となった景観形成を充実していきます。

地域を東西に貫く一本杉通りなどの生活道路には商店街(中央通り、一本杉通り、リボン通り、東部)があり、生活に密着した商業サービスが提供されています。

商店街が位置する国道249号北側は、密集市街地が形成されており、狭い道路も多く、延焼の危険性や緊急車両の通行に対応した生活道路の整備が求められています。

小丸山城跡に整備された小丸山公園には、桜やつつじなどの樹木があり、市民に親しまれています。



② まちづくりの目標

城下町の歴史と風格を感じられる 暮らしと賑わいのあるまちづくり

小丸山城の城下町としての歴史と風格をまちづくりに活かして、まちなか観光を推進するとともに、生活利便性が高く、安全で安心して暮らすことのできる生活環境整備によってまちなか居住を推進します。

まちなか観光と生活環境整備による賑わいのあるまちを目指して、以下の3つについて取り組みます。

■歴史と風格のあるまちなかの賑わいの形成

- ・まちなかの賑わいづくりに向けて、沿道景観や歩行者空間の充実等による観光軸、歴史軸の形成を図ります。また、歴史的資源として小丸山公園を活用するとともに、市民と観光客の交流の場の演出を図ります。

■安全・安心の生活環境の整備

- ・安全で安心して生活できる環境の形成に向けて、通学路や災害時の避難路の確保、緊急車両が通行できる生活道路の整備を図ります。
- ・U・I・Jターンなどによる転入者への各種支援を充実するとともに、空き家の有効利用を図ることでまちなか居住の推進を図ります。

■既存ストックを活用した基盤整備の推進

- ・既存ストックを活用した基盤整備の推進に向けて、地域間を連絡する道路の連続性の確保、土地利用が混在する地区における用途地域の見直し、低未利用地の活用を図ります。



能登食祭市場



七尾マリンパーク

御祓川沿いの
ポケットスペース青柏祭 御祓川のデカ山
(出典：七尾百景プロジェクト)花嫁行列（一本杉通り）
(出典：七尾百景プロジェクト)

小丸山公園



パトリア

③ まちづくりの方針

土地利用の方針

城下町としての歴史と風格を活かしたまちなか観光を推進するため、沿道の賑わいづくりや既存ストックを活かした観光駐車場の確保を進め、まちなかの賑わいを創出する観光軸の形成を図ります。

工業系用途地域の指定地区の一部では住居系土地利用との混在がみられるため、用途地域の見直しを行うとともに、低未利用地の活用を図ります。

まちなか居住を推進するため、U・I・Jターンの転入希望者の受け皿として空き家、空き地を有効活用するとともに、身近な買物機能の確保を図ります。

《政策展開》

- ・まちなかの賑わい創出（観光軸（(都)府中七尾駅線）沿道の賑わいづくり）
- ・市民と観光客の交流の場の演出
- ・土地利用混在地区での用途地域の見直し、低未利用地の活用
- ・まちなか居住の推進
- ・身近な買い物機能の確保

交通体系の方針

まちなか観光の中心となる観光軸や歴史軸では、歩行者空間の安全性、回遊性の向上や、山の寺寺院群等との連携を図ります。

地域間を連絡する道路として、一部未整備区間が残る(都)臨港線の整備を促進します。

まちなか居住を推進するため、生活軸、生活補助軸の確保により、まちなかの生活環境の向上、防災性・安全性の向上を図ります。

《政策展開》

- ・まちなかの賑わい創出（観光軸（(都)府中七尾駅線）の歩行者空間・歩行者導線の充実）
- ・歴史的風格の醸成（歴史軸（一本杉通り）の歩行者空間・歩行者導線の充実）
- ・地域間を連絡する道路としての連続性の確保（(都)臨港線の整備促進）
- ・まちなかの生活環境の向上
（生活軸（(都)七尾金沢線、(都)桜川線）の歩車道分離による歩行者の安全確保）
- ・防災性・安全性の向上（生活補助軸（6 m以上の生活道路の連続性の確保））

都市環境形成の方針

観光軸を形成する(都)府中七尾駅線では、新しい七尾の顔として景観形成の充実を図ります。また、歴史軸では、歴史的なまちなみを活かした景観づくりを図ります。

歴史的資源として小丸山公園の活用を図ります。

街区公園等の身近な公園・緑地は、適正な管理を行うとともに、必要に応じて遊具の更新やバリアフリー化などにより質の向上を図ります。

《政策展開》

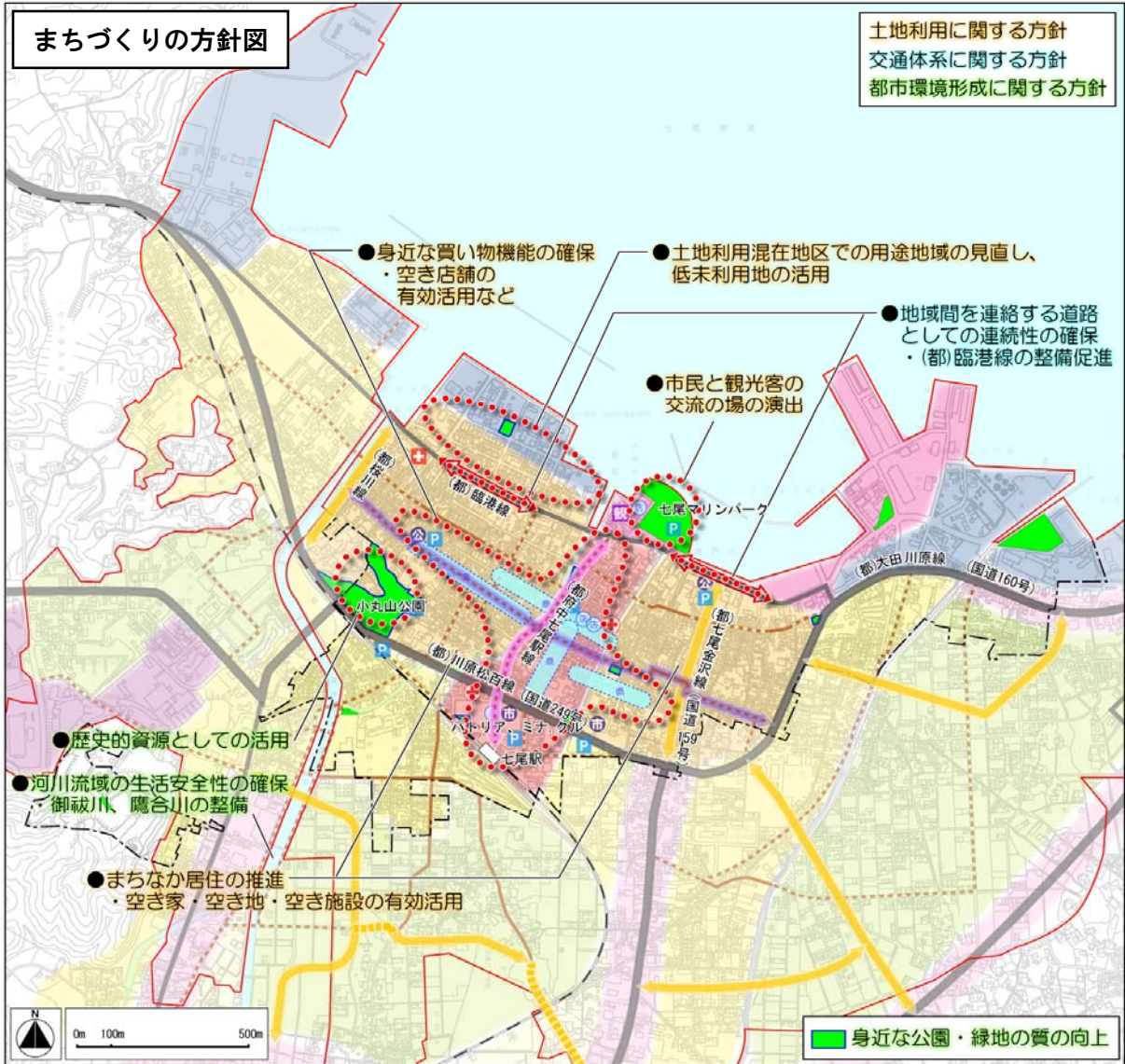
- ・まちなかの賑わい創出（観光軸（(都)府中七尾駅線）の景観形成の充実）
- ・歴史的風格の醸成（歴史軸（一本杉通り）の歴史的まちなみを活かした景観づくり）
- ・歴史的資源としての活用（小丸山公園）
- ・身近な公園・緑地の質の向上
- ・河川流域の生活安全性の確保（御祓川、鷹合川の整備）

袖ヶ江・御祓地域

まちづくりの目標

城下町の歴史と風格を感じられる暮らしと賑わいのあるまちづくり

まちづくりの方針図



凡	例
	みなと文化交流ゾーン 公共・公益施設 (市=市役所、公=公民館)
	商業・業務ゾーン 総合病院・病院 (保=聖徳院、医=病を除く)
	まちなかゾーン 観光資源・施設
	複合市街地ゾーン 商店街・大規模店舗 (商=商店街、店=大規模店舗 (店舗面積1,000㎡以上))
	工業・生産物流ゾーン 既存の駐車場
	都市間交流道路 地域間連絡道路 用途地域
	JR七尾線 のと鉄道七尾線 地区界
	公園・緑地等 (斜線部分は未整備区域)

軸設定によるまちづくり	
	観光軸 ⇒ まちなかの賑わい創出 ● 沿道の賑わいづくり ● 景観形成の充実 ● 歩行者空間・歩行者導線の充実 ● 既存ストックを活かした観光駐車場の確保
	歴史軸 ⇒ 歴史的風格の醸成 ● 歴史的まちなみを活かした景観づくり ● 歩行者空間・歩行者導線の充実
	生活軸 ⇒ まちなかの生活環境の向上 (破線は幅員が確保されている区間) ● 歩車道分離による歩行者の安全確保(通学等)
	生活補助軸 ⇒ 防災性・安全性の向上 (破線は幅員が確保されている区間) ● 6m以上の生活道路の連続性確保

(2) 矢田郷地域

① 地域の概況

矢田郷地域は、中心市街地の南部に位置し、七尾城跡のある地域南部の城山の麓に広がっています。

当該地域は、6地域の中で群を抜いて人口規模が大きい地域で、人口、世帯数ともに増加しています。

(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合):
約20%(七尾市全体:約27%))

市街地内の国道159号、(主)七尾羽咋線の沿道には沿道サービス施設が多く立地しており、通勤時間帯を中心として道路混雑がみられます。

現在、(都)外環状線(藤橋バイパス)の整備が進められており、整備に伴い沿道の開発圧力の高まりが想定されます。

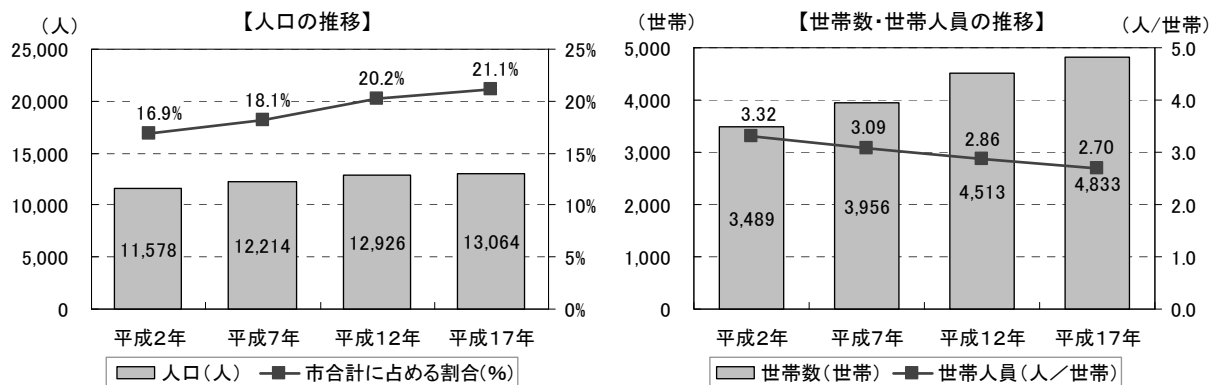
市街地では面的な基盤整備は行われていないものの、開発行為等による住宅の立地が進んでいます。一方、一団の農地が残存する地区もみられます。

都市計画道路等による幹線道路が未整備な状況にあり、既存集落やこれらの住宅地では、十分な幅員のある生活道路が不足しています。

また、市民サービス施設であるサンライフプラザや小中学校に接続する歩行者空間が不十分な状況です。

現在、歴史的遺産の保全・活用、多様なレクリエーションや防災の拠点となる広域型の都市公園として、能登歴史公園の整備が進められています。

城山には七尾城跡や城山展望台などの良好な眺望景観を有しており、その麓には七尾城史資料館や懐古館があります。また、その山頂と麓を結ぶ戦国巨大山城の道が整備されており、市民や観光客の散策路として親しまれています。



② まちづくりの目標

快適な生活環境と七尾の個性となる歴史や自然が共栄するまちづくり

市街地に残されている未利用地を将来の七尾を支える市民の受け皿とするため、生活利便性の高い快適な生活環境の形成を図ります。

また、城山や七尾城跡、能登歴史公園は、七尾市の歴史と自然が一体となった地域の個性となる観光資源としての活用を図ります。

快適な生活環境と七尾の個性となる歴史や自然が共栄するまちを目指して、以下の4つについて取り組みます。

■快適な生活環境の形成

- ・市街地の骨格となる幹線道路や街区を形成する生活道路の整備により、良好な開発を誘導するとともに、防災性、安全性の向上を図ります。
- ・学校や公園、公民館等の主要な生活関連施設を結ぶ歩行者ネットワークの確保を図ります。

■地域の宝を活用した観光交流資源の育成

- ・地域の宝である能登歴史公園や城山（七尾城跡）を観光交流資源として活用します。

■交流・連携軸の強化

- ・広域的な交流・連携を図るため、能越自動車道七尾 I C（仮称）との連絡を強化します。

■既存ストックを活用したコンパクトな市街地形成

- ・市街地を取り囲む田園環境、森林環境の保全・活用により、コンパクトな市街地形成を図ります。



七尾城跡



サンライフプラザ



城山



七尾駅南側に広がる一団の農地

③ まちづくりの方針

土地利用の方針

良好な田園環境やまちの背景となる森林の保全などにより、コンパクトな市街地形成を図ります。田園環境保全ゾーンでは、無秩序な開発を抑制し、点在する既存集落の生活環境を保全します。

国道159号、(都)外環状線、(主)七尾羽咋線の沿道では、生活サービス施設等の誘導により市民の日常生活の利便性向上、周辺環境との調和を図ります。

(都)外環状線の内側の住宅地では、優良な新規開発の誘導や住民主体の地区計画の設定により、良好な住宅地の形成を図ります。

《政策展開》

- ・ 幹線道路沿線の土地利用の促進 ((都)七尾金沢線、(都)外環状線)
- ・ 優良な新規開発の誘導
- ・ 既存宅地の生活環境の向上
- ・ 住民主体の地区計画の設定
- ・ 田園環境の保全
- ・ 既存集落の生活環境の保全
- ・ まちの背景となる森林の保全と活用

交通体系の方針

中能登地域内の広域的な交流を支え育むため、広域交流道路である能越自動車道ICとの連絡を強化します。

市街地における円滑な交通処理を行うため、生活環境の向上に資する補助幹線道路を配置し、良好な市街化を誘導します。また、生活道路の確保により防災性・安全性の向上を図ります。

既存の歩行者空間の不連続間の整備や安全施設の適切な配置により、主要な生活関連施設を結ぶ歩行者空間のネットワークを確保します。

《政策展開》

- ・ ICとの連絡強化 ((都)七尾金沢線、(都)外環状線の整備促進)
- ・ 駅南地域の通過交通を処理する路線の整備
- ・ 開発を誘導する区画街路の設定
- ・ 補助幹線道路等の整備による開発誘導及び生活環境の向上
- ・ 生活道路の確保による防災性・安全性の向上
- ・ 主要な生活関連施設を結ぶ歩行者ネットワークの確保 ((都)七尾金沢線、(都)外環状線)

都市環境形成の方針

城山、七尾城跡、能登歴史公園は、まちの個性となる水と緑の拠点として、それぞれの特色を活かした整備により、広域的な観光交流資源としてまちづくりに活用します。

街区公園等の身近な公園・緑地は、適正な管理を行うとともに、必要に応じて遊具の更新やバリアフリー化などにより質の向上を図ります。

《政策展開》

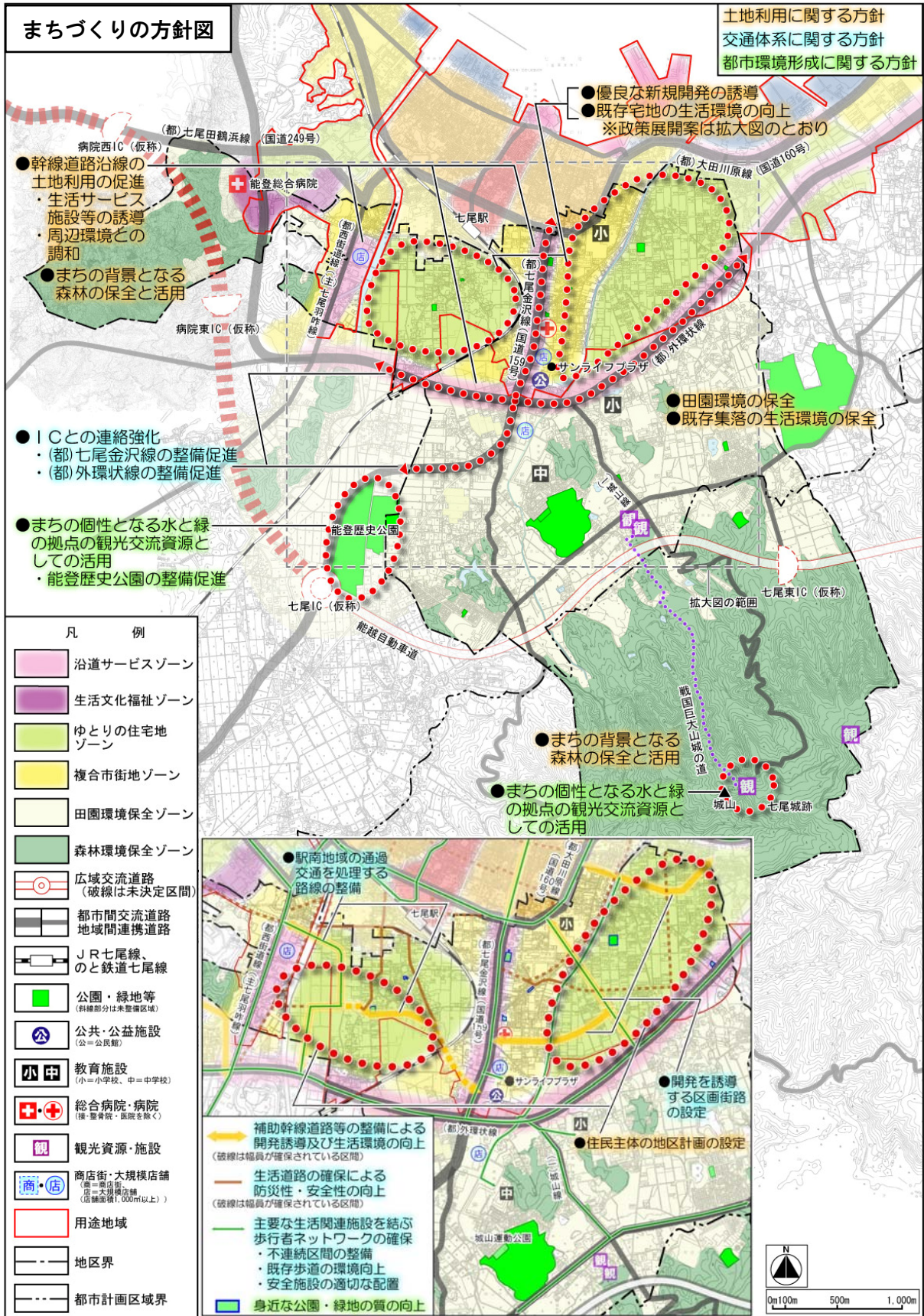
- ・ まちの個性となる水と緑の拠点の観光交流資源としての活用 (能登歴史公園の整備促進)
- ・ 身近な公園・緑地の質の向上

矢田郷地域

まちづくりの目標

快適な生活環境と七尾の個性となる歴史や自然が共栄するまちづくり

まちづくりの方針図



(3)東湊地域

① 地域の概況

東湊地域は、都市計画区域の東部に位置し、地域北部は七尾港に面しています。また、地域南部には田園環境が広がっています。

人口は微減傾向にあります。世帯数は増加しています。

(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合):
約20%(七尾市全体:約27%))

大田地区には、公設地方卸売市場をはじめとした青果、水産物を扱う加工、物流業の作業場や倉庫などの生産物流機能が集積しています。また、その北東には七尾大田火力発電所が稼働しています。

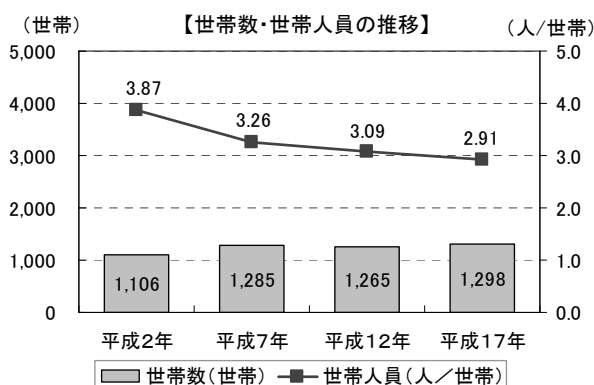
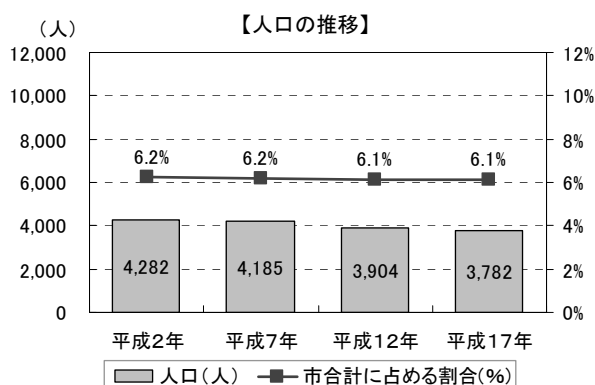
市街地は、万行地区土地区画整理事業によって基盤整備を進めており、新たな人口の受け皿として期待されています。

また、市街地内の国道160号の沿道には商業、業務施設や住宅、工場など多様な土地利用が行われています。国道160号南側の工業系用途指定地区は、工業地と住宅地が混在した地区があり、基盤も未整備で一団の未利用地が残されています。

国指定史跡の万行遺跡は、七尾市の個性と魅力を伝える重要な歴史資源となっています。

南部の希望の丘公園は、市民の休息、遊戯、運動などに利用されています。

都市計画区域外に位置する上沢、栢戸等の集落は、公共交通の利用が困難な公共交通空白地域(バス停から500m以上離れた地域)になっています。



② まちづくりの目標

工業・生産物流機能の強化と居住環境・自然環境が共生したまちづくり

工業・生産物流機能が集積する大田地区では、能越自動車道七尾東IC(仮称)、七尾IC(仮称)の供用による広域交通機能を最大限に活用することによって産業を活性化し、雇用の創出を図ります。

また、工業・生産物流ゾーンの周辺は、雇用の創出に伴う就業者の受け皿として、既存ストックを活用した住宅地の形成を図ります。

大田地区を中心とする工業・生産物流機能の強化と居住環境・自然環境が共生したまちを目指して、以下の4つについて取り組みます。

■工業・生産物流機能の強化

- ・新たな雇用の創出に向けて、港湾を活かした工業・生産物流機能の増進を図るとともに、低未利用地を活用し、工業・生産物流機能と連携した土地利用を促進します。

■交流・連携軸の強化

- ・工業・生産物流機能の強化を支援するため、能越自動車道ICへの連絡道路の整備によって交流・連携軸の強化を図ります。

■自然環境と共生する生活環境の形成

- ・生活サービス施設等の誘導による市民の日常生活の利便性向上を図ります。また、工場と住宅地の混在の解消により生活環境の向上を図ります。
- ・安全で安心して生活できる環境の形成に向けて、通学路や災害時の避難路の確保、緊急車両が通行できる生活道路の整備を図ります。

■既存ストックを活用したコンパクトな市街地形成

- ・市街地を取り囲む田園環境、森林環境の保全・活用、及び基盤整備地区における市街化を促進することにより、コンパクトな市街地形成を図ります。



国道160号(万行町)



七尾大田火力発電所

(出典：七尾百景プロジェクト)

③ まちづくりの方針

土地利用の方針

工業・生産物流ゾーンでは、港湾を活かした工業・生産物流機能の増進を図ります。また、低未利用地を活用し、工業・生産物流機能と連携した土地利用を図ります。

土地区画整理事業による基盤整備が進んでいる地区では良好な市街化を促進し、良好な田園環境やまちの背景となる森林を保全することで、コンパクトな市街地形成を図ります。田園環境保全ゾーンでは、無秩序な開発を抑制し、点在する既存集落の生活環境を保全します。

国道160号の沿道では、生活サービス施設等の誘導により市民の日常生活の利便性向上、周辺環境との調和を図ります。また、工場と住宅地が混在する地区では、住民主体の地区計画の導入等により住宅を基本とした土地利用への純化を図ります。

《政策展開》

- ・ 港湾を活かした工業・生産物流機能の増進
- ・ 低未利用地の活用
- ・ 工業・生産物流機能と連携した土地利用
- ・ 幹線道路沿線の土地利用の促進（(都)大田川原線、(都)外環状線）
- ・ 基盤整備地区における良好な市街化の促進（万行土地区画整理事業地区）
- ・ 工場と住宅地の混在の解消
- ・ 田園環境の保全
- ・ 既存集落の生活環境の保全
- ・ まちの背景となる森林の保全と活用

交通体系の方針

工業・生産物流機能の向上を図るため、広域交流道路である能越自動車道I Cとの連絡を強化します。

生活環境の改善に向けて、補助幹線道路、生活道路を整備します。

既存の歩行者空間の不連続間の整備や安全施設の適切な配置により、主要な生活関連施設を結ぶ歩行者空間のネットワークを確保します。

《政策展開》

- ・ I Cとの連絡強化（(都)大田川原線、(都)外環状線の整備促進）
- ・ 物流拠点とI Cの早期連携（(都)大田新線及び延伸区間の整備促進）
- ・ 狭幅員区間の拡幅による連続性の確保（東湊小学校前）
- ・ スクールバス乗降時の安全確保（東湊小学校前）
- ・ 主要な生活関連施設を結ぶ歩行者ネットワークの確保（(都)大田川原線、(都)外環状線）
- ・ 公共交通の充実（デマンドタクシーの実証運行など）

都市環境形成の方針

貴重な歴史遺産である国指定の万行遺跡をまちづくりに活用します。

安全で安心のある生活環境づくりとして、沿岸部の安全性の向上を図ります。

《政策展開》

- ・ 万行遺跡の活用
- ・ 国道160号沿道の満潮時における浸水対策

東 湊 地 域

まちづくりの目標

工業・生産物流機能の強化と居住環境・自然環境が共生したまちづくり

